



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 株式会社 ピーエス三菱 上場取引所 東  
 コード番号 1871 URL <https://www.psmic.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 森 拓也  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 田中 良夫 TEL 03-6385-9111  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	73,720	△8.5	4,055	△24.6	4,008	△25.9	2,649	△30.0
2022年3月期第3四半期	80,549	△3.8	5,378	△19.0	5,412	△18.7	3,787	△15.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,800百万円 (△25.1%) 2022年3月期第3四半期 3,738百万円 (△21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	56.86	—
2022年3月期第3四半期	81.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	103,697	46,706	45.0	1,005.89
2022年3月期	93,100	45,533	48.9	974.37

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 46,705百万円 2022年3月期 45,532百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期（予想）				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	1.2	4,950	△25.2	4,800	△27.8	3,200	△29.5	68.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名)ー、除外 ー社 (社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3 Q	47,486,029株	2022年3月期	47,486,029株
2023年3月期3 Q	1,054,276株	2022年3月期	755,810株
2023年3月期3 Q	46,598,941株	2022年3月期3 Q	46,655,456株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. 補足情報 .....	9
受注・売上・利益の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、物価上昇や海外経済の減速による下振れが懸念されているものの、景気は緩やかに持ち直しております。賃金を含めた雇用も緩やかに改善しており、新型コロナウイルス感染再拡大が懸念されながらも、人流増加により外食や宿泊といったサービス業を中心に個人消費が回復しております。また、多くの企業においては、感染一服による経済活動の活性化を背景に業績回復が続いており、設備投資意欲も底堅い状況にあります。

しかしながら、資源価格高騰や円安による物価上昇で、個人消費が悪化するようであれば、企業の業績にも悪影響を与え、設備投資の抑制にも繋がり兼ねず、さらに金利上昇による世界経済の減速や新型コロナウイルスの再拡大などのリスクもくすぶっており、景気回復の勢いが削られることも懸念され、我が国の経済は今後も一進一退の状況が続くものと認識しております。

当社グループが属する建設産業においては、建築分野で民間建築工事の発注は依然として回復基調を維持しているものの、資材・資源の高騰による建設コストの増加を受け、建設需要に陰りが見られ、熾烈な受注競争に拍車がかかっており、収益性の確保に向けた精度の高い選別受注が求められております。一方、土木分野では、高速道路のリニューアル事業など老朽化したインフラ整備等の建設投資が引き続き底堅い状況となっており、生産性・収益性の向上が必須となっております。そのような市場環境の中、建設就労人口の減少や高齢化といった産業全体の問題と2024年の残業規制への適切な対応が喫緊の課題となっており、限られた人的資本の最適化が急務となっております。

このような経営環境のもと、当社は「中期経営計画2022（2022年度～2024年度）」の基本方針・基本戦略を着実に実行し、戦略テーマである「環境に配慮した事業活動を推進し、成長分野（大規模更新工事・PC建築・メンテナンス・海外）における収益性を強化するため、建設DXの推進と多様な人財活用により生産性を進化させる」ことを最優先に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高954億81百万円（前年同四半期比34.1%増）、売上高737億20百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

利益につきましては、売上高の減少、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益40億55百万円（前年同四半期比24.6%減）、経常利益40億8百万円（前年同四半期比25.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益26億49百万円（前年同四半期比30.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は799億90百万円となり、前連結会計年度末に比べて92億44百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が24億96百万円減少いたしました。受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等が74億13百万円、その他の棚卸資産が22億9百万円増加したことによるものであります。固定資産は237億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億52百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が3億14百万円減少いたしました。建物・構築物が5億57百万円、リース資産が5億8百万円、建設仮勘定が3億86百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,036億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ105億96百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は467億59百万円となり、前連結会計年度末に比べて93億89百万円増加いたしました。これは主に支払手形・工事未払金等が32億51百万円減少いたしました。短期借入金が157億15百万円増加したことによるものであります。固定負債は102億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が6億円減少いたしました。退職給付に係る負債が2億29百万円、固定負債のその他の内、長期リース債務が3億50百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は569億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ94億24百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は467億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億72百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が12億27百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.0%（前連結会計年度末は48.9%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	9,947	7,451
受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等	53,082	60,496
電子記録債権	1,471	1,701
未成工事支出金	2,852	3,003
その他の棚卸資産	1,362	3,572
未収入金	1,738	2,345
その他	472	1,634
貸倒引当金	△180	△214
流動資産合計	70,746	79,990
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	9,450	10,007
機械、運搬具及び工具器具備品	12,444	12,349
土地	8,697	8,702
リース資産	908	1,417
建設仮勘定	123	510
減価償却累計額	△16,695	△16,914
有形固定資産合計	14,929	16,073
無形固定資産		
	119	105
投資その他の資産		
投資有価証券	2,721	2,787
破産更生債権等	1,170	1,174
繰延税金資産	1,531	1,216
退職給付に係る資産	2,052	2,077
その他	998	1,446
貸倒引当金	△1,169	△1,173
投資その他の資産合計	7,305	7,528
固定資産合計	22,354	23,706
資産合計	93,100	103,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,457	14,206
電子記録債務	6,455	5,567
短期借入金	6,008	21,723
1年内返済予定の長期借入金	—	600
未払法人税等	636	204
契約負債	2,133	1,347
賞与引当金	309	133
完成工事補償引当金	200	170
工事損失引当金	99	31
預り金	1,529	944
資産除去債務	—	145
その他	2,541	1,686
流動負債合計	37,369	46,759
固定負債		
長期借入金	4,000	3,400
繰延税金負債	27	24
再評価に係る繰延税金負債	1,255	1,255
役員退職慰労引当金	84	97
株式報酬引当金	271	293
退職給付に係る負債	3,410	3,640
資産除去債務	254	255
その他	894	1,265
固定負債合計	10,197	10,232
負債合計	47,567	56,991
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,218	4,218
資本剰余金	8,110	8,110
利益剰余金	31,004	32,232
自己株式	△395	△601
株主資本合計	42,938	43,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,020	1,011
土地再評価差額金	1,917	1,917
為替換算調整勘定	△288	△135
退職給付に係る調整累計額	△55	△48
その他の包括利益累計額合計	2,594	2,744
非支配株主持分	0	0
純資産合計	45,533	46,706
負債純資産合計	93,100	103,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	80,549	73,720
売上原価	68,727	62,566
売上総利益	11,821	11,153
販売費及び一般管理費	6,443	7,098
営業利益	5,378	4,055
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	94	46
受取保険金	11	—
持分法による投資利益	10	14
スクラップ売却益	26	39
受取ロイヤリティー	13	14
為替差益	—	3
その他	31	20
営業外収益合計	187	139
営業外費用		
支払利息	63	110
為替差損	14	—
支払保証料	33	49
支払手数料	28	20
その他	13	5
営業外費用合計	153	186
経常利益	5,412	4,008
特別利益		
固定資産売却益	13	36
ゴルフ会員権償還益	50	—
その他	0	0
特別利益合計	64	36
特別損失		
固定資産除売却損	45	34
ゴルフ会員権評価損	12	—
投資有価証券評価損	3	5
その他	—	0
特別損失合計	62	40
税金等調整前四半期純利益	5,414	4,005
法人税、住民税及び事業税	1,068	1,035
法人税等調整額	558	320
法人税等合計	1,627	1,355
四半期純利益	3,787	2,649
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,787	2,649

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,787	2,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86	△8
為替換算調整勘定	27	74
退職給付に係る調整額	△17	7
持分法適用会社に対する持分相当額	26	77
その他の包括利益合計	△48	150
四半期包括利益	3,738	2,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,738	2,800
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	土木事業	建築事業	製造事業	その他 兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,255	29,734	1,130	429	80,549	—	80,549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	846	79	2,858	269	4,054	△4,054	—
計	50,101	29,814	3,989	698	84,603	△4,054	80,549
セグメント利益(売上総 利益)	8,217	3,054	348	274	11,894	△72	11,821

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,894
調整額(セグメント間取引消去)	△72
販売費及び一般管理費	△6,443
四半期連結損益計算書の営業利益	5,378

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	土木事業	建築事業	製造事業	その他 兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	47,854	23,961	1,415	489	73,720	—	73,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	610	128	2,755	115	3,611	△3,611	—
計	48,465	24,090	4,171	605	77,331	△3,611	73,720
セグメント利益（売上総 利益）	8,624	1,888	333	267	11,114	38	11,153

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,114
調整額（セグメント間取引消去）	38
販売費及び一般管理費	△7,098
四半期連結損益計算書の営業利益	4,055

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

### 3. 補足情報

受注・売上・利益の状況

区分		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		比較増減(△)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
受 注 高	土木事業	50,627	71.1	66,410	69.5	15,783	31.2
	建築事業	19,021	26.7	27,166	28.5	8,145	42.8
	製造事業	1,130	1.6	1,415	1.5	284	25.2
	その他兼業事業	430	0.6	488	0.5	58	13.5
	合計	71,210	100.0	95,481	100.0	24,271	34.1
売 上 高	土木事業	49,255	61.2	47,854	64.9	△1,400	△2.8
	建築事業	29,734	36.9	23,961	32.5	△5,773	△19.4
	製造事業	1,130	1.4	1,415	1.9	285	25.2
	その他兼業事業	429	0.5	489	0.7	59	13.9
	合計	80,549	100.0	73,720	100.0	△6,829	△8.5
利 益	土木事業	8,527	72.1	9,032	81.0	504	5.9
	建築事業	3,009	25.5	1,898	17.0	△1,111	△36.9
	製造事業	90	0.8	2	0.0	△87	△96.9
	その他兼業事業	194	1.6	220	2.0	25	13.2
	合計	11,821	100.0	11,153	100.0	△668	△5.7